

## 今後の進め方について（案）

2006年1月31日

## 1. 今後の課題

- (1) 総合科学技術会議では、2002年から2005年の4年間にわたり、毎年「知的財産戦略について」をとりまとめて意見具申を行い、大学等における特許等の機関一元管理をはじめとした知的財産管理体制の支援、技術移転機関（TLO）の活用促進、先端技術分野における知的財産権制度の充実、標準化への積極的対応など、科学技術政策の観点から知的財産戦略に関する取組みを進めてきた。
- (2) こうした取組みにより、大学等では知的財産に関する体制やルールが整備され、特許出願件数も増加するなど、大学等における知的財産活動は着実に進展してきたが、今後は、これらの知的財産を有効に活用し、イノベーションの創出につなげていくことが重要な課題となっている。
- (3) 昨年12月27日に決定された第3期科学技術基本計画のための科学技術基本政策では、知的財産の創造、保護、活用に関し、大学知的財産本部やTLOの活性化と連携強化、知的財産による地域の振興、知的財産に係る人材の養成などの施策を推進していくことが示されている。これらを具体的に実行していくため、知的財産戦略専門調査会を開催し、今後取り組むべき具体的方策を検討する必要がある。

## 2. 主な検討内容

- (A) 知的財産戦略についての取組みの状況及び今後の方針について
- (B) 2006年度の知的財産戦略について  
上記科学技術基本政策に示された以下の事項を中心に、2006年度の知的財産戦略を検討する。
- (1) 知的財産を活用した産学官連携の推進  
・大学知的財産本部やTLOの体制やルールの整備

- ・大学等における知的財産の管理・契約に伴う諸問題（不実施補償や企業の営業秘密管理など）への対応

（２）優れた知的財産創出のための取組み支援

- ・企業、大学による質の高い基本特許の国内外での取得と活用
- ・大学等における特許情報等の検索システムの整備
- ・大学での研究における他者の特許の円滑な使用など、先端技術分野における知的財産の諸問題への対応

（３）知的財産による地域の振興

- ・大学等による地域のニーズにマッチした知的財産の創造や活用
- ・大学、地域企業、地方公共団体等の知的財産に関する連携強化

（４）知的財産に係る人材の養成

- ・科学技術の成果を知的財産として戦略的に取得・活用できる人材の育成
- ・知的財産や技術経営教育に係る大学等の取組み支援

（Ｃ）研究における特許使用円滑化について

３．検討スケジュール

別紙参照

## スケジュール

第27回 1月31日(火) 10:00-12:00 共用第2特別会議室

- (1) 第3期科学技術基本政策について
- (2) 今後の進め方について
- (3) 知的財産戦略についての取組みの状況及び今後の方針について

第28回 2月8日(水) 13:00-15:00 共用第2特別会議室

- (1) 知的財産戦略についての取組みの状況及び今後の方針について
- (2) 知的財産を活用した産学官連携の推進
- (3) 優れた知的財産創出のための取組み支援

第29回 3月9日(木) 15:00-17:00 共用第4特別会議室

- (1) 知的財産による地域の振興
- (2) 知的財産に係る人材の養成

4月(今後調整)

- ・「知的財産戦略について(案)」議論

5月(今後調整)

- ・「知的財産戦略について」とりまとめ